

棚底地区振興会報 アイラトピカスラ

ニュースポーツを通して子どもたちと高齢者が交流を深める!

世代間交流事業



【Hチーム(宮崎さんら)が見事優勝=表彰式】

健康福祉部会では、梅雨真っ只中の6月20日(土)、棚底地区内の子どもたちと高齢者らがニュースポーツを通して交流を深めることを目的に「世代間交流事業」を開催しました。

今回は、中体連など他の行事と重なった影響で、児童生徒の参加が少なく心配しましたが、高齢者や保護者の皆さんのご協力で何とか例年通りのグループ分けが出来ました。試合は、スロットボール、ピンボーリング、囲碁ボール、ポッチャの4種目を1チーム5人編成で8チームが優勝を目指して競いました。

ニュースポーツは、初めてという人も多かったが、見よう見まねですぐに要領を掴み、高得点を目指して1球1球丁寧に投じておられました。中には、全然的外れの処に転がり、大声で「アーアー」と叫びながら残念がる人もいてとても賑わいました。

最後は、皆さん「楽しかった、また参加したい」と異口同音に感想を述べ、沢山の団体賞と参加賞、お弁当などを貰って帰路に着かれました。

棚底地区振興会

倉岳町棚底1786-4
棚底地区
コミュニティセンター
TEL 64-3664
fax 63-7544



【どこを狙おうかな=囲碁ボール】

指示に相当。ここまで危険な場所から全員避難することが重要で、レベル5大雨特別警報は、すでに災害が発生、命の危機が迫っている状況なので、直ちに安全確保をとる行動が大切です。

振興会では、今年度も避難場所の運営業務を担うことになりました。これから大雨や台風のシーズンになります。避難場所が開設された場合は、躊躇なく早目の避難をお願いいたします。スタッフ7人(うち女性3人)で、皆さんが安心してご利用いただけるようお手伝いをさせていただきます。



【ストライクめがけて渾身の1球=ピンボーリング】

避難場所では、今年度も避難場所を運営します!

昨年8月に県内各地で発生した集中豪雨に伴う甚大な被害は、本市でも本渡や栖本、有明地区などで河川の氾濫や土砂災害などが相次ぎ、道路の決壊、土砂崩れ、家屋の浸水被害など大きな被害をもたらしたことは記憶に新しいところです。

そんな中、5月29日から警報や注意報など、災害が発生する恐れがある場合に気象庁が発表する「防災気象情報」が大きく変わりました。河川氾濫「大雨」や「砂災害」高潮の危険度の伝わり方が避難情報と一対一で対応できるよう変更され、警報・注意報の情報名に「レベル」が付きました。

レベル3大雨警報は、高齢者など避難に時間を要する人は早めに避難、または避難の準備を。レベル4大雨危険警報は避難指示に相当。ここまで危険な場所から全員避難することが重要で、レベル5大雨特別警報は、すでに災害が発生、命の危機が迫っている状況なので、直ちに安全確保をとる行動が大切です。

振興会では、今年度も避難場所の運営業務を担うことになりました。これから大雨や台風のシーズンになります。避難場所が開設された場合は、躊躇なく早目の避難をお願いいたします。スタッフ7人(うち女性3人)で、皆さんが安心してご利用いただけるようお手伝いをさせていただきます。

